

次の文章は、古典を現代語に訳したものです。これを読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

夢を賣つた話

むかし、備中の國（今の岡山県）にひとりの都司^(注1)がいた。その子に、ひきのまきひとといふのがいた。若かったとき、気になる夢をみて、夢うらないの女のものとへみてもらいに出かけた。べつになんといふこともなくて、そのあと世間話をしていると、がやがやと大ぜいの人があつてくるようすである。

見ると、この備中の國司の長男殿の^(注2)お^(注3)二七、八歳ほどの男、性質はわからぬけれど、見た目にはなかなかの美男である。お供を四、五人連れて、

「ふく」が夢うらないの女の家か

「さようぞござります」

などと言いながら入りてきた。で、まきひとは隣りの部屋にかくれ、穴^(注4)なんぞをへりてのぞいでいると、

「ふくな夢をみたのだが、どうじや」とか

と聞いて、國司の長男殿は、夢の内容をきめと語りてきかせた。女は答えた。

「まくとたずねばらしい夢でござりますよ。あなたおまか、かならず大臣にまでおのぼりになられます。なんとまあ、けつこうな夢を二回になりましたことだ。」

そうそう。けつしてけつして、この夢を人にお話しになりましたよ!」

聞いて長男殿はたゞそやうれしそうであった。着ていた上の衣をぬいで女にあたえ、そのまま、いそひそと帰つていった。

やがて、隣りの部屋からまきひとは出でてきた。そして女に言った。

「夢といふものは、横取りできるそうな。どうだな、あの人の夢を、わたしに取らせてくればいいか。いやいや。まく考えてござらん。國司といふものは、四年たては都へ帰つてゆくお人。けれど、わたしはこの備中の間人。だから、いつまでおひいにいる。そのうえ、わたしは都司の子だから、わたしを大事にしておいたら、おまえさんたちこうがいいのではないかな」

女はしばらく考へてうなずいた。

「よろしくうござります。おひしやるおまかいたしましよう。

それじゃ、さりそく、こうなさるませ。

先ほどのおかたとまつたく同じようにして、この部屋へ入つておいでなされ。それから、先ほど語られた夢を、語られたとおりすこしもきちがえないで、あなたがもう一度お語りなさいませ」

まきひとは大喜びで、あの長男殿がしたのとまつたく同じように部屋に入り、まつたく同じように夢を語つた。すると女も、先ほどの言つたのとまつたく同じことを答えたのである。

まきひとはわくわくして、着ていた上の衣をぬいで女にあたえ、そのまま、いそいそと帰つていった。（なんとまあ、じつまで同じことをしているよ、この人。）

その後、まきひとはひたすら勉強したので、ぐんぐんと学問のある人に成長した。その評判は朝廷にも聞こえ、試験してみたところ、評判どおりたいしたものである。そこで遣唐使に任命して、「唐」の文物をよくよく習つてくるようだ。「

と送り出された。

長いあいだ唐にとどまり、わざわざの学問や技術を習い覚えて帰国したので、天皇はまきひとをすつかり信任し、しだいに官職もあげて、ついには大臣たまで任命された。

うつかり夢を人に話すものではない、と、むかしから言い伝えているのは、そう、ここなのだな。

教えてみると、「夢を取る」と「うつ」とは、なんと恐ろしいことではないか。

夢を取られたあの備中守の子は、官職もつかない身分で終わってしまった。まきひとに夢を取られていないから、この人こそ大臣にまでなつていただろう。

うつかり夢を人に話すものではない、と、むかしから言い伝えているのは、そう、ここなのだな。

（注1） 郡司＝國司のもとにあって、その國の郡を治める者。その國々の豪族が任せられた。

（注2） 長男殿のおいでで、長男殿がいらっしゃって。

（注3） 大なんぞをくじりて穴を開けて。

――この話に登場する人物についての説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 夢がないの女は、ひきのまきひとの夢を不吉な夢だと予言した。

2 夢らないの女は、ひきのまきひとに頼まれて彼の要求に応じた。

3 国司の長男殿は、ひきのまきひとを自分のライバルだと思い込んでいた。

4 国司の長男殿は、ひきのまきひとが自分の夢を取つたことを知っていた。

――線部「考えてみると、夢を取るといふことは、なんと恐ろしいことではないか。」とあります。これは誰の言葉ですか。
次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

1 ひきのまきひと

2 夢らないの女

3 国司の長男殿

4 この話の語り手

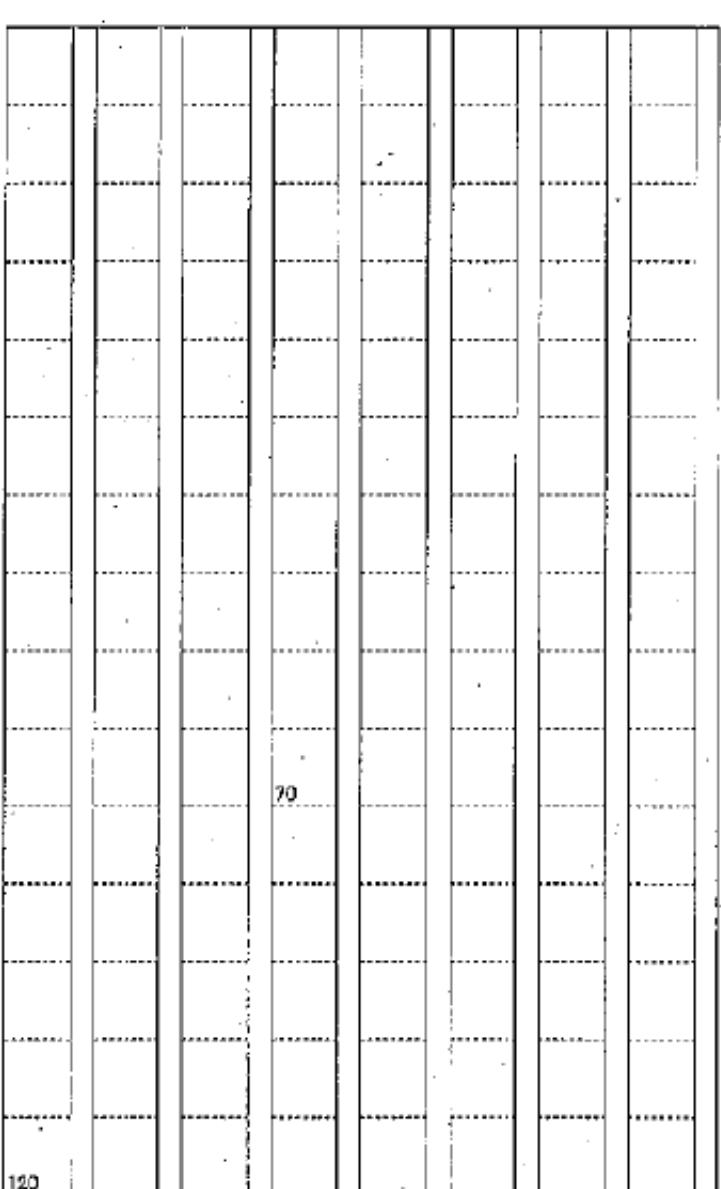
III この話のあらすじを学級の友達に説明しようとします。あなたなりのようないい方に説明しますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 話の展開を取り上げて書くこと。

条件2 七十字以上、百二十字以内で書くこと。

※ 次のページの持は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。



3

—

三

(1)	(1)
(2)	(2)
(3)	(3)
(4)	(4)

中学校 活用9（解答）

[3] -

國の長男殿が自分の夢を夢うらない女の今まで出世する夢だと言ふ。されどその夢を横取りしたひきのまきひとは自分でもひたすら勉強して、本当に大臣になつた。ついで終わつてしまつた。
一方、国司の長男殿は官職もつかない身分で終わつてしまつた。